覧古考新

岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No. 42
令和8(2026)年 11月
岡谷市教育委員会生涯学習課
岡谷市史編さん室 編集・発行
岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F
TEL 0266-78-8455 WEB はこちら

覧古考新 ： 古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

シリーズ岡谷市史下巻以降のおもなできごと⑰ 観光【後編】

広報誌などから岡谷市史下巻（昭和５７年刊行）以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「観光」の後編です。

岡谷市の観光は、豊かな自然、歴史的な近代化産業遺産、そして独自の食文化が融合した点が大きな特色です。行政と地域が連携して育ててきた独自の観光の歴史を紹介いたします。

「うなぎのまち岡谷」の誕生！！

- 平成8(1996)年 「うなぎのまち岡谷」の会設立
- 平成 13(2001)年「寒の土用丑の日」が商標登録される

全国トップクラスのうなぎの消費量！！「うなぎのまち岡谷」

岡谷市は諏訪湖畔に位置し、天竜川の源流のまちです。諏訪湖や天竜川では昭和初期までうなぎが年間約38トンもとれました。古くから市民にうなぎが食され、消費量も全国トップクラス。うなぎ屋や川魚の店が数多くあります。その歴史と伝統をふまえ、平成8年に「うなぎのまち岡谷」の会が設立され、「うなぎのまち岡谷」を旗揚げしました。

うなぎが最もおいしいのは秋から冬！！「寒の土用丑の日」は岡谷が発祥の地

うなぎは、秋から冬にかけては産卵や冬眠に備えて脂の乗りがよくなります。そこで岡谷市ではうなぎが旬を迎える立春前の土用を「寒の土用丑の日」と制定し、平成13年に商標登録をしました。

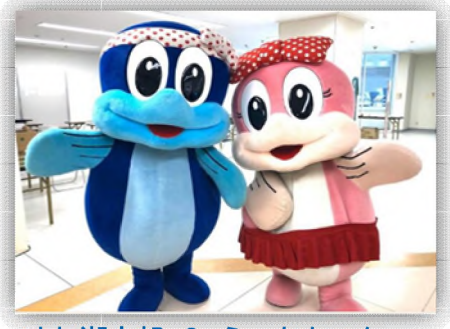


「寒の土用丑の日発祥の地」記念碑(岡谷湖畔公園)
写真:うなぎのまち岡谷の会パンフレットから



写真:うなぎのまち岡谷の会パンフレット『おかやのうなぎ』から





すわ湖太郎 ＆ う～なちゃん
平成14年誕生！ 写真:岡谷市観光情報サイト「旅たびおかや」から

岡谷のうなぎの美味しさの秘密 ☞ さばきは背開き「関東風」焼きは蒸さない「関西風」

蒸さずに炭火でじっくり焼いた岡谷のうなぎは、皮はパリパリで中はふっくら、独自のタレと相まって一度食べたら忘れない味！！岡谷市は、関東と関西のちょうど中間に位置しているため東西の特徴が出ています。

【参考文献等】
・『うなぎのまち岡谷創立１０周年記念誌』うなぎのまち岡谷の会発行 2006 年
・うなぎのまち岡谷の会パンフレット『おかやのうなぎ』2026 年
・岡谷市観光情報サイト「旅たびおかや」

岡谷市では、冠婚葬祭や学校給食などにも私がでます♪



【コラム】うなぎの産地だった諏訪湖

『岡谷市史(下巻)』によると、諏訪湖でのうなぎの水揚げ量は、昭和元年には約38tもあった！！（同年、フナ375t･コイ170t･ワカサギ75t･エビ181t） 昭和20年代後半～30年代前半までは3t 台を保ったうなぎだが、天竜川のダム建設や環境の変化などにより昭和40年以降急落し、昭和54年には12kgとなった。現在でも諏訪湖ではうなぎが放流されており、諏訪湖漁業協同組合によると、令和7年度には放流由来のうなぎが 12.8kgとれている。

※参照 『岡谷市史(下巻)』1982 年 p.374-378　　諏訪湖漁業協同組合資料

まだまだある岡谷の観光

詳細は岡谷市観光情報サイト
「旅たびおかや」

岡谷太鼓まつり　8月13日・14日



昭和45年10月
市民祭として初めて岡谷太鼓まつりを行う
写真：R8 岡谷太鼓まつりの様子
岡谷市観光情報サイト「旅たび岡谷」から

シルク岡谷と近代化産業遺産

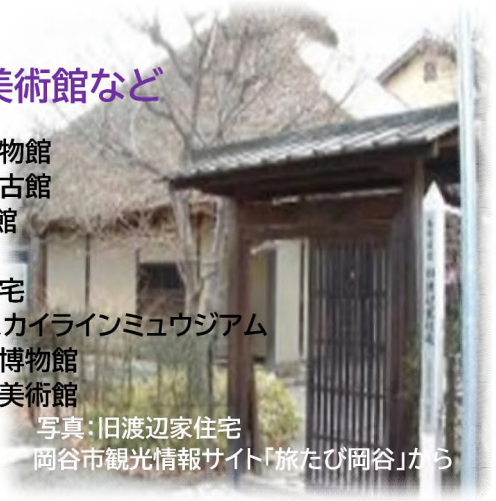


写真：R6　岡谷市史編さん室撮影

旧山一林組製糸事務所・守衛所
平成19 年、「シルク岡谷」を象徴する遺産 15 件が「近代化産業遺産」として経済産業省から認定されました！

博物館・美術館など

- 岡谷蚕糸博物館
- 岡谷美術考古館
- イルフ童画館
- 旧林家住宅
- 旧渡辺家住宅
- プリンス・スカイラインミュウジアム
- 世界の太鼓博物館
- 小さな絵本美術館



写真：旧渡辺家住宅
岡谷市観光情報サイト「旅たび岡谷」から

公　園

- 塩嶺御野立公園
- 鳥居平やまびこ公園
- 岡谷湖畔公園
- 成田公園
- 出早公園　かたくり・紅葉
- 鶴峯公園　つつじ
- 小坂公園　あじさい

ビューポイント

- 高ボッチ高原
- 鉢伏山
- 塩嶺王城パークライン
- 諏訪湖



新名所！岡谷湖畔公園の「SUWAKO モニュメント」(R6 設置)
写真：　岡谷市観光情報サイト「旅たびおかや」から

【コラム】 歴史が咲かせた花

鶴峯公園のつつじ

写真：岡谷市観光情報サイト「旅たびおかや」から
参照：「三沢区誌歴史編　三沢の歴史」2013 年　p.251



昭和10年、約1万㎡に及ぶ現鶴峯公園一帯が製糸業で名をなした片倉家から川岸村に寄付された。村では園内につつじを植えることにし、昭和12年頃、埼玉県安行からつつじを買い入れたが、三沢区誌によると、安行側の勘違いで車3台のつもりが貨車3両もの大量のつつじが送られてきたとのことである。だが返品もできず、青年会や商業会、村民の有志が何日もかかって植え、鶴峯公園は中部日本一のつつじの名所として知られるようになった。

横河川の桜

写真：　R8 岡谷市地域創生推進課　地域おこし協力隊撮影
参照：『平野村誌』(上巻)1932 年　p.486

大正天皇御即位式記念事業の一つとして、大正4(1915)年に西堀青年会によって植樹された。150本を2間に1本の割合で植樹、その後、小井川青年団による植栽・補植も行われた。今では市民に愛される岡谷の名所となっている。



来年の春が楽しみですね！！

（担当：専門職員　櫻井　洋）